



祐介の目

No.101

大田祐介 (福山市議会議員)

などにも波及する。特にIC乗車券を採用している場合、提携先のIC乗車券システムの改修も必要となる。

駅名は変えられないとしても、何か妙案は無いか調べたところ、全国的に「副駅名」が増

福山駅 (福山城前)

平成29年3月議会で福山駅を「福山城駅」に改名してはどうかと提案し大きな反響をいただいた。平成30年2月、ふくやま未来づくり100人委員会の「30年後の未来図」にも福山城駅が提唱されていた。あの話はどうなったのか?と聞かれるので、その後の状況をお知らせしたい。

昨年12月議会にて改名問題の現状を質したところ、市民の盛り上がりは十分承知しているが、現時点ではただちに改名することは難しい。まずは駅から最も天守閣が近い城という特徴を生かしたいという考えが当局より示された。その魅力発信の第一歩として昨年9月、駅北口に「福山城□」という愛称を付けられた。この程度では物足りないが、駅名変更は駅構内の案内表示を変えるだけでなく、車両内の駅名表示システム、路線図、駅周辺の「福山駅前」と名乗る施設、市販の地図や時刻表

る、全国的に「副駅名」が増えていることに気付いた。副駅名とは到着駅がより良く分かるように付けられたサブタイトルであり、例えばJR京都線の桂川駅は一級河川・桂川にちなんで命名されたが、駅所在地名の(久世)という副駅名が付けられている。JR北海道は副駅名をネーミングライツとして売り出し、恵庭駅には学校法人により(北海道文教大学前)という副駅名が付けられた。

さらに副駅名は駅構内の従来の案内表示の下に貼り付けるだけで良く、低コストで実現できる。そこで福山駅も(福山城前)という副駅名を付けてはいかがだろう。我ながらグッドアイデアと自画自賛している。車内放送で「次は福山駅、福山城前です」とアナウンスもしてほしい。副駅名が定着し、福山駅と福山城の一体的な知名度アップが図られ、数十年先の天守閣を木造再建する頃には福山城駅(福山)と改名しているかもしれない。